

★初任者研修「コミュニケーション実践」 開催報告★



会員大学9大学から16名が参加。

米澤氏（追手門学院大学 理事長・学長室
審議役・大学コンソーシアム大阪 SD 研修準備
副委員長）の講義の様子です。

最初にオリエンテーション・アイスブレイク
で参加者同士の交流を図った後、
自分の強みを見つけ、大学で生かすためには
どうしたら良いかお話がありました。



昼食休憩でさらに交流を深めた後、米澤氏と
塩川氏（追手門学院大学 客員研究員・SD 研
修準備委員）による「大学職員としての基礎
知識」の講義が行われ、今回のテーマである
コミュニケーションの実践に始まり、情報の
リサーチ方法や法律に関する知識等、大学職
員として「こんな能力や知識が必要なん
だ!」と、実際の業務に生かせる内容のお話
がありました。



糸電話を使った「伝えるチカラ」を向上させるワークショップの様子です。

参加者の皆さんには、言葉の選び方と伝え方を工夫することで、相手の理解度が違ってくるというこ
と身をもって経験していただきました。



各グループで、イベントの掲示物を作成する課題に取り組む様子です。
皆がアイデアを出し合い、協力して1枚のポスターを作成し、グループの代表者が発表を行いました。



最後に、本日の研修内容の振り返りと質疑応答を行い、受講者には修了書が授与されました。

プログラム終了後、次世代を担う大学職員のネットワーク構築のきっかけづくりを目的に情報交換会を開催しました。

以上